

## Y. N. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

アルクの『TOEFLテストイディオム大特訓』という本でイディオムの勉強を続け、また、『NHK ラジオ 徹底トレーニング英会話』のテキストとCDを使って、耳と口を英語に慣らすように心がけました。その他には、夏に使ったTOEFLの模擬試験・練習問題の残りを終わらせました。この期間にもう少しボキャブラリーを増やし、映画や音楽などの話題作りをし、また日本の文化や歴史などについて知識を増やしておけば良かったなと思います。Listeningも嫌がらずにできるだけ聴くようにすれば良かったと思いました。

#### ② 語学研修 (ESL, Academic Skills Study) 期間

Reading, Communication, Speaking, Writingの4つの授業を毎日受けます。Reading では2ヶ月かけて一つの劇を読み、Communication の授業では Listening の練習や、日本とアメリカの文化・習慣の違いなどを学びました。Speaking ではおもにディスカッションの練習、そして時々ロール・プレイングをし、Writing では主に creative writing のエクササイズと、最後にリサーチ・ペーパーを書き、パワー・ポイントを使って発表も行いました。ESL の期間はそれほど難しい授業ではなく、始めから楽しみながら受けることが出来ました。英語やアメリカの文化に慣れていくのに良い機会だったと思います。

#### ③ 正規科目履修期間

##### ・ 履修科目の決定

授業はあらかじめシラバスを見て、取りたい科目など決めていましたが、学期ごとによって開講される授業が制限されていました。取りたい授業を、その学期に取り過ぎたりすることのないように気をつけてください。また、SBC では二週間以内なら、履修科目の変更が可能なので、自分に合わないと思ったら、授業の内容やレベルを考えながら、実際に興味のある授業に出てみて決めても良いと思います。Writing, Public Speaking, Theater の授業は個人的にお勧めです。日本と違ったアプローチの仕方が学べると思います。

##### ・ 授業、レポート、定期試験

レポートやドラフトを作ったりと、勉強のサポートは ARC というところで、生徒が tutoring をしてくれるので心配しないでください。授業中に理解できなかった事は、教授に直接聞いたり、友達にノートを借りるのも良いと思います。私は何度も授業後、教授に質問をしに行き、ARC にも通い詰めました。大変でしたが、分からない事を蔑ろにせずに逐一確認するという事は、セカンド・ランゲージを学習する者にとって大切で、なおかつ今思えば効果的な勉強だったと思います。定期試験は、テストを受ける形のもの、ペーパーを提出するだけのもの、など授業によって

様々な形があります。歴史の授業を取った友達は、15ページ以上のペーパーに悩まされていて大変そうでした。

#### ④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

SBCにはいくつか本格的なスポーツクラブや一風変わったイベントを催す(?)ようなクラブがあります。私は特に所属したいクラブがなかったで、SBCのクラブ活動に参加することはありませんでしたが、フレンドシップ・ファミリーが所属しているロータリー・クラブのお手伝いをしたり、LIFEクラブ(主にRandolph Collegeを中心としたインターナショナル・クラブ)のイベントに参加したりしました。LIFEクラブでは、多彩な国からRandolph Collegeに留学に来ている生徒と友達になれるので、参加することをお勧めします。

#### ⑤ 現地での住まい(語学研修期間、正規科目履修期間)について(寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など)

Chatham も SBC も寮を用意してくれているので、その決められた部屋で生活しました。寮にはキッチンとランドリー、共同バスルーム、テレビのある部屋があるので、困る事は何もありません。SBC では季節の変わり目に、冷房や暖房がうまく作動せずに、寒い思いをしたりすることがありますが、コンピューターで管理されているので、しばらく服を厚めに着たり、ブランケットをかぶったりするしかありませんでした。このようなケースや、インターネットがうまく接続できない時など、学校の physical plant というところに電話するといいいそうですよ。

#### ⑥ 長期休暇の過ごし方

長期休暇は、寮に居られないということもあったため、旅行のためにフル活用しました。研修期間中の連休では同女の友達とボストンに、SBC 在学中の連休はインターナショナル・スチューデントの友達とワシントンに行き、Thanksgiving holidays はシカゴへ行きました。冬休みはまるる一ヶ月、アムトラックを使って同女の友達とラスベガス・グランドキャニオン・LA・サンフランシスコ・ヨセミテ国立公園・NY へ行きました。NY ではアメリカ組の留学生皆で再会し、タイムズスクウェアで新年のカウントダウンという貴重な経験もすることが出来ました。その後、私は、同じ協定留学でイギリスに行っていた友達のところに一週間半ほど遊びに行きました。春休みは再び一週間半ほどNYにSBCの友人と行きました。友達の友達もその旅行に来て、日本人二人・スペイン人五人・フランス人二人にイタリア人と、総勢十人で騒がしながらも楽しい時間を過ごしました。

#### ⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

日本にいる友達が就職活動をしているのに影響を受けて、企業を調べたり、就職活動の本を読んだりしていましたが、結局焦るばかりだったので、前年度に協定留学をした先輩たちのように留学に集中するようになりました。自分の将来や、自分が本当に何をしたいのかを考える良い機会だったと思います。

## Ⅱ. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

友達と共に生活し、旅行では新しい人々に出会い、文化の違いや色々な発見をしながら絆を深めていった、そんなちょっとした事が、やはり一番の思い出です。日本人の皆とアメリカを散策し、chatham ではアメリカ人のルームメイトと早朝ヨガを続けたことも思い出に残っています。SBC ではフランス人のルームメイトと、英語・日本語・フランス語を交えながら冗談を言ったり、夜中にインディアナ・ジョーンズを観て盛り上がりたりして楽しかったです。また、インターナショナル・スチューデントの皆と旅行に行ったり、ホームパーティーを開いたことも良い思い出です。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

SBC では日本人が私一人だったため、日本語の話せないつらさ、日本の文化を共有できないつらさを経験しました。それでも、最後の方はどんどん日本語を使ったり、日本の文化を紹介するように心掛けました。初めから、たとえ相手がそんなに興味を示していなくてもそういった行動を起こせば良かったなと思います。また、友達との日常会話でも正規授業でも、初めは全く話を聞き取る事が出来なくてついていけずに大変苦労しましたが、それはごく自然な事なので、皆さんも悩んだりせずに、自分のベストを尽くしてくださいね！

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

文化や習慣の違いは山ほどありますが、カルチャー・ショックを受けるという事は少なかったと思います。ただ、人によるとは思いますが、アメリカ人は特にノリが良く、面白いなあ、さすがエンターテイナーだなあと思いました。一つだけ、コミュニケーションの点で皆さんに覚えておいてほしいことがあります。アメリカ人はよく聞き返すときに“Huh?”と言うことがあります。これは日本語の「は？」に聞こえますが、英語ではカジュアルに「え？」と聞き返しているだけのことがほとんどなので、こういわれた時に怖じ気づかずに、もう一度聞き返し／言い直してみてくださいね。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

SBC は緑に囲まれて、安全でとてもいい環境にある大学でしたが、一方、車も無ければ公共バスも無いので、外に出かける事もあまり頻繁にできず、日本のように簡単に買い物や食事に出かけたりできるような環境ではなかったのでストレスがたまる事もあると思います。そんな時は、友達に外に連れて行ってもらうように頼んだり、DVD を図書館で借りて友達と観たり、イベントに参加するなど工夫が必要でした。アカデミックな勉強するという点では、良い環境と言えるかもしれません。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは必需品です。パソコンがあればレポートも部屋で書けますし、インターネットにつながりも出来ます。あとの物は、何でも簡単に手に入りますし、荷物はなるべく少なくして渡航することをお勧めします。私はリサーチのためにといい、いくつか日本語の本も持って行きましたが、結局インターネットで調べる事が常で、しかも英文で調べる方が後々都合がいいので、いりませんでした。自分の好きな、勇気づけられる本など一冊あつたら良いかもしれませんね。お土産は、ESLとSBCでの、ホストファミリーとルームメイトにあげる分、それといくつか軽いものを余分に持って行きました。それから、英語サブタイトル付きの日本のDVDを持って行ったら、友達と一緒に楽しめると思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果

もちろん四技能は、日本にいて勉強していた時と比べて伸びたと思いますが、正直に言うと、他の人が思い描くような劇的な変化はありません。帰国直前も、まだまだネイティブの会話についていけずに聞き逃す事もたくさんありましたし、speakingにおいても「ペラペラ」に話せたわけではありません。それでも、エッセイを書く時などに、自然と吸収した語彙が出て来たので、表現力は上がったと思います。何より文化や歴史、政治などの知識も増え、今後に繋がる大きなモチベーションを得た事が一番の収穫かなと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学をするということは、未知の事に出会う事が多く、不安もたくさんあると思いますが、裏を返せばたくさんの発見に出会えるということ。たくさんの新しい人に出会い、また、意識的に異なる環境の中に身を置くことで、今まで意識しなかった自国・他国の文化や習慣、さらには自分自身にも気づく事が出来るでしょう。私は1日たりとも無駄だったと思う日はありません。皆さんも是非、留学を通して自分自身を多様な見方に触れさせてあげてください。